

大会派遣・研修報告書	
大会	第2回全国社会人バスケットボール選手権大会九州ブロック予選
研修期間	令和2年2月8日(土)～9日(日)
派遣者	山口勝真(佐世保) 朝村博和(佐世保) 久原裕未(佐世保) 一瀬諒(長崎) 片岡瑞季(島原)
日程	8日(土) 実技研修 男女1回戦・2回戦 9日(日) 座学研修「3POメカニクスについて」山崎誠二氏 実技研修 男女決勝・3位決定戦・準決勝
研修概要 (担当ゲーム)	<p>《山口 勝真》</p> <p>① 男子2回戦 HAWKS(福岡2位)ーMagic(宮崎2位) 【CC:山口勝真(長崎) U1:江原直樹(佐賀) U2:佐藤凜明(佐賀)】</p> <p>② 男子決勝 浦上自動車学校(長崎2位)ーDOGS(福岡1位) 【CC:山口勝真(長崎) U1:前田隼大(鹿児島) U2:秀島充彦(佐賀)】</p> <p>《朝村 博和》</p> <p>① 男子1回戦 熊本教員(熊本1位)ー佐賀教友(佐賀2位) 【CC:川島司(宮崎) U1:朝村博和(長崎) U2:中屋敷大(大分)】</p> <p>《久原 裕未》</p> <p>① 女子1回戦 ひらまつ病院(佐賀1位)ーBlueBears(大分2位) 【CC:久原裕未(長崎) U1:三木大助(鹿児島) U2:千々岩知佳(鹿児島)】</p> <p>② 女子2回戦 福太郎めんべい(福岡2位)ーREBELLIONS(熊本1位) 【CC:潮平朝一郎(沖縄) U1:久原裕未(長崎) U2:岸川大樹(佐賀)】</p> <p>③ 女子決勝 ひらまつ病院(佐賀1位)ーPanthers(大分1位) 【CC:紀伊孝哉(佐賀) U1:久原裕未(長崎) U2:小川智弘(佐賀)】</p> <p>《一瀬 諒》</p> <p>① 男子1回戦 HAWKS(福岡2位)ーBeasty(沖縄2位) 【CC:樋口俊司(大分) U1:一瀬諒(長崎) U2:秀島充彦(佐賀)】</p> <p>② 男子2回戦 熊本教員(熊本1位)ー浦上自動車学校(長崎2位) 【CC:古後宏和(福岡) U1:一瀬諒(長崎) U2:千住靖明(佐賀)】</p> <p>《片岡 瑞季》</p> <p>① 女子1回戦 OM ガス石油(沖縄2位)ー日ノ出ホルモン(宮崎1位) 【CC:山崎誠二(福岡) U1:片岡瑞季(長崎) U2:田添友祐(佐賀)】</p> <p>② 女子準決勝 ひらまつ病院(佐賀1位)ーREBELLIONS(熊本1位) 【CC:樋口俊司(大分) U1:片岡瑞季(長崎) U2:山城力(沖縄)】</p>

<p>研修内容</p>	<p>座学研修：「3PO メカニクス」 講師：山崎誠二 氏 ※映像を見ながらディスカッション (JSB REFEREE CLINIC)</p> <p>1. プレイコーリングガイドラインについてチームやD級E級等にも広める必要がある</p> <p>2. 3PO</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が大事か→ベーシック、クルーワーク、メカニクスを信じる ・check in→ポジションアジャスト(エリア、アングル) ・checking out→ローテーション(ノッキングしない ボールサイド2) ・ローテーションに”内なる声”を入れる <p>① ボールはパイプ？ ② クローズダウン ③ next マッチアップは？ ④ エントリーは？ ⑤ ローテーション ⑥ スキャンザペイント ⑦ フィニッシュ</p> <p>・ノーワーキングエリア→</p> <p>○ローテーション・・・ check in の意識がないと良いローテーションにつながらない</p> <p>○ネクストマッチアップ・・・ 気になるマッチアップをLがとらえる オープンアングル(L)+裏側をつかまえる(C)</p> <p>○セットアップポジションから何が起きているかを確認し、情報を整理、準備する・・・ クルーが同じことを考え、情報を共有し、同じ方向に向かって信頼し合ってレフリングをする</p> <div data-bbox="869 779 1353 929" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ボールウォッチャーにならないように自問自答していけばローテーションに繋がる </div> <div data-bbox="794 1032 1433 1256" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ノッキングしないローテーション中にドライブがあってもミッドラインを超えていたら行き切る。ショットであれば反対側にボールが跳ねる場合が高いのでバックペダル戻る。 </div>
<p>7. 所感</p>	<p>《山口 勝真》</p> <p>PGCにて確認すべきことは沢山あるが、初めてのクルーということもあり今回のテーマは特にこの2つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックなメカニクスの徹底 ・コミュニケーション (プレイヤー、ベンチ、TO、クルー) <p>社会人のゲームでは特にプレイヤー、ベンチとのコミュニケーション能力が問われる。</p> <p>男子決勝より…1ゲーム通して良くコミュニケーションが取れ、スムーズに運営することが出来ていたように感じる。メカニクスは大きく崩れることなくそれぞれのプライマリーで判定を積み重ねていった。しかし終盤、勝敗がどちらに転ぶか分からない展開の中、クルー内での笛の数に偏りが見えて来た。決断</p>

しなければいけない状況と感じゲームコントロールに徹したがクルーワークの面で課題が残った。強いメンタル必須。

《朝村 博和》

- ・PGCではチェックイン、チェックアウトを重視しスムーズにローテーションを行う事で良いアングルを目指す事でベーシックに進行しようという内容でゲームに入った
- ・ゲームではPGC通りスムーズにでき、クルーワーク、TO、ベンチ管理も問題なく進んだ
- ・タイマーが1台の為EOQ.EOGのクルーで管理できた
- ・パーソナルファウルからグレードアップし、UFにするケースがあったがクルーで確認できスムーズに処置することができた
- ・インテグリティ関係は特になく、ベンチ・プレーヤー協力であった
- ・ポストカンファレンスではUFの映像確認など細かく行った

《久原 裕未》

- ・Primaryエリア、アングルの捉え方。
- ・ゲームフローや選手のインテンシティを感じ取る力。
- ・ベーシックなメカニクスの徹底。チェックインとチェックアウトの受け渡し。
- ・コミュニケーションなど表情も含めたプレゼンテーションの意識づけ。
課題を克服するために、様々なシチュエーションに応じた回答を増やしていくこと、それをコート内でチャレンジすることを繰り返していく。自覚と危機感をもって、学ぶ姿勢を忘れないようにしたい。

《一瀬 諒》

- ・センターのポジショニングに課題が残った。ハイセンター、ローセンターのポジションをとることやクロスステップを使うことの判断が遅く、正確な判定ができないケースがあった。
- ・リードでパイプに入ってくるドライブやエッジでのショットに関しては積極的に判定するようチャレンジできた。
- ・フェイクに対しての心の準備と決断力が必要であった。

《片岡 瑞季》

- ・判定後の見せ方が悪いため強さを感じないプレゼンが目立つので改善が必要
- ・クルーが寄ってグレードアップすることはあるが、明らかなものにはダイレクトで判定する決断力を身につける
- ・プライマリを捉えた上で、どのポジションにいてもセカンダリーとしての意識を高く持ち、いつでもヘルプできる状態を作っておく
- ・プレイヤーやHCとのコミュニケーションをもっと増やすために、日頃からいろんなケースに対しての答えを持っておく

今回の派遣での経験を県内に還元していきたいと思います。

お世話になりました佐賀県バスケットボール協会の皆様、本大会に派遣いただきました長崎県バスケットボール協会の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。